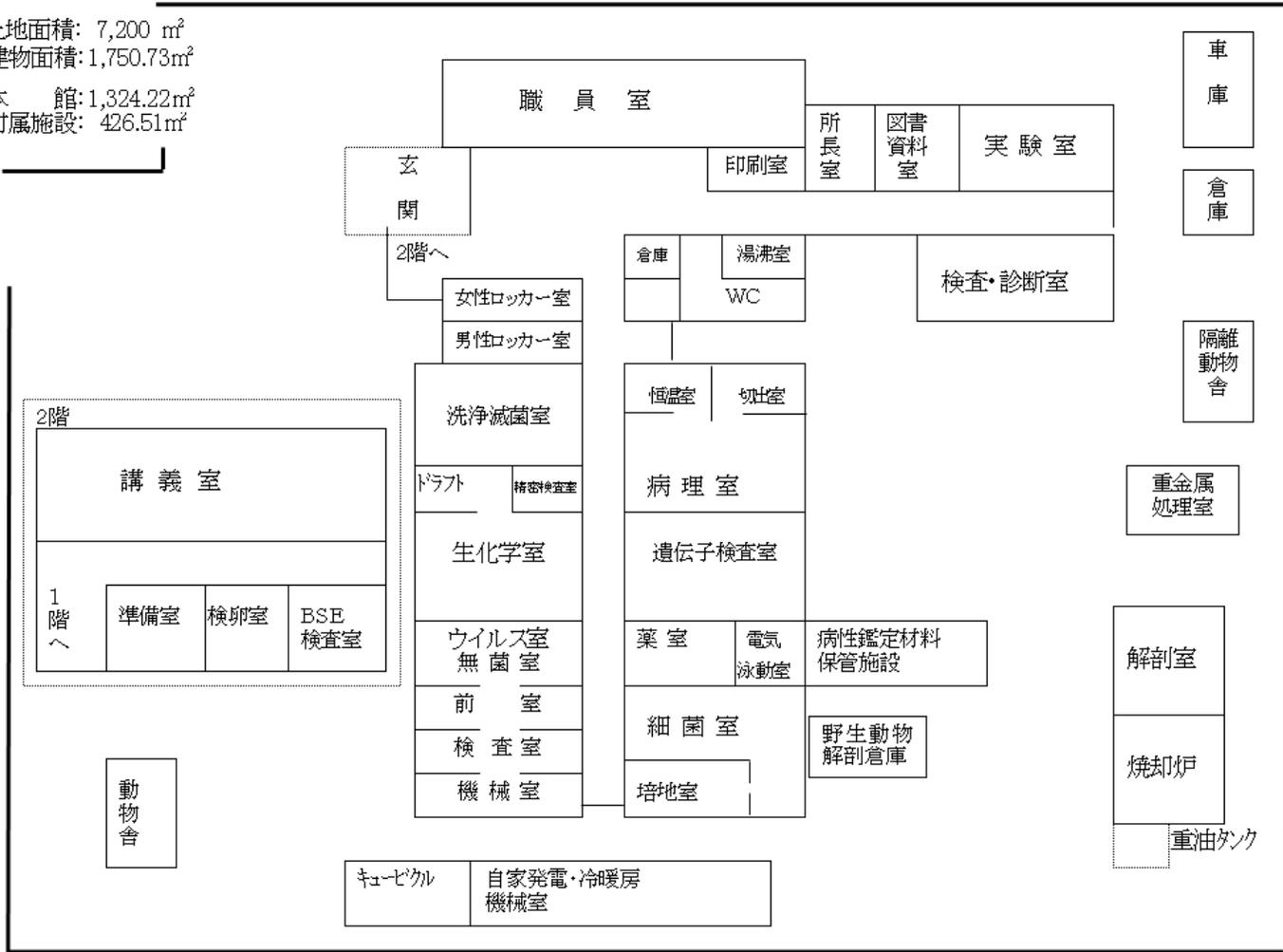


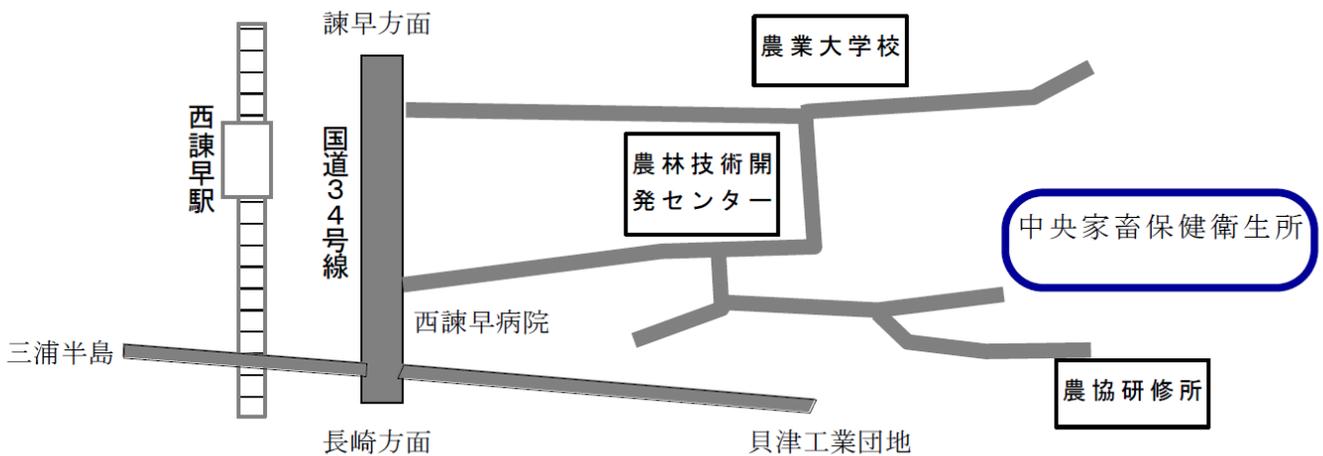
## 施設の概要

土地面積: 7,200 m<sup>2</sup>  
建物面積: 1,750.73m<sup>2</sup>

本館: 1,324.22m<sup>2</sup>  
付属施設: 426.51m<sup>2</sup>



## 案内図



# 長崎県県央振興局農林部 中央家畜保健衛生所



## 県央振興局農林部（中央家畜保健衛生所）

〒854-0063長崎県諫早市貝津町3 1 1 8

TEL(0957)25-1331（代）FAX(0957)25-1332

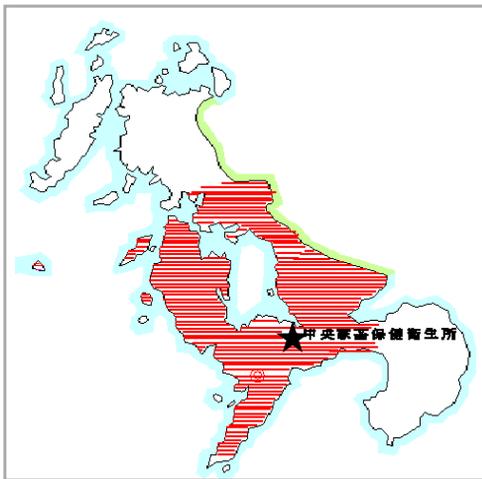
e-mail 衛生課 s34500@pref.nagasaki.lg.jp

防疫課 s34510@pref.nagasaki.lg.jp

検査課 s34520@pref.nagasaki.lg.jp

ホームページ： <http://www.pref.nagasaki.jp/section/ko-chuokatiku/index.html>

### ■管轄区域

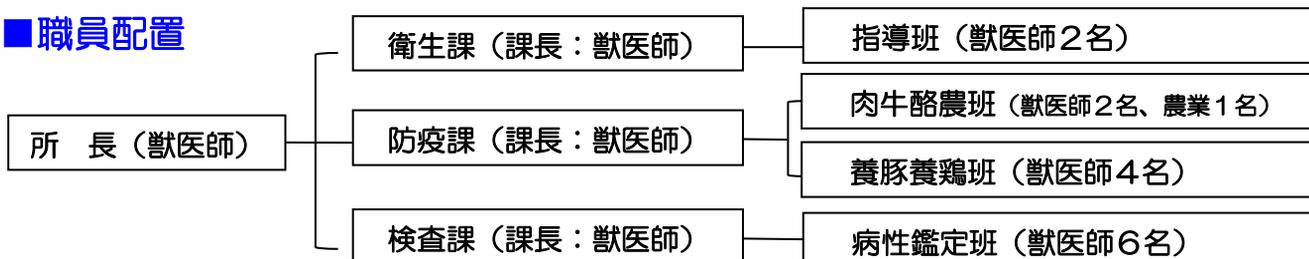


長崎市、諫早市、大村市、西海市

西彼杵郡(長与町、時津町)

東彼杵郡(東彼杵町、川棚町、波佐見町)

### ■職員配置



## ■管内家畜飼養頭羽数（令和6年4月1日）

	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		肉用鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数 (千羽)	戸数	羽数 (千羽)
長崎市			21	3,440	4	3,306	1	2	3	372
諫早市	9	325	59	1,852	12	16,100	4	63	7	646
大村市	3	82	20	5,918	4	3,792	2	53	1	15
西海市	2	56	43	5,294	11	53,380	4	29	2	153
西彼杵郡			1	4					1	28
東彼杵郡			45	3,996			3	140	1	35
管内計	14	463	189	20,504	31	76,578	14	287	15	1,249
県計	105	5,667	1,960	92,030	72	192,677	45	1,618	51	3,377
対県比(%)	13	8	10	22	43	40	31	18	29	37

## ■主な業務

### ○家畜伝染病防疫対策の強化

家畜伝染病予防法に基づき、監視伝染病の各種検査を実施することで、流行の状況把握、発生予防対策、発生時の対策に資する。

また、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の家畜伝染病がひとたび発生すると、畜産農家はもとより関連産業、ひいては地域経済にまで大きな影響が及ぶことになるため、発生予防対策と万一の発生に備えた初動防疫態勢の強化が重要である。発生予防のためには、飼養衛生管理基準の遵守指導、初動防疫態勢の強化のためには、市町や関係団体等と連携し防疫演習や防疫研修会等を行う。

### ○生産性向上対策の強化

飼養規模の拡大等を背景に、呼吸器病や下痢症をはじめとした慢性疾病が生産性を阻害する大きな要因となっているため、病原体の排除や飼養環境及び管理の改善により、生産性の向上を図る。

肉用牛における繁殖成績、子牛出荷成績の向上及び肥育期間の短縮等や養豚におけるベンチマーキングの活用及び繁殖成績、肉豚出荷成績の向上等の生産性向上により、畜産経営改善を図る。

### ○安全な畜産物の生産

農場におけるHACCPの考え方に基づく衛生管理手法の推進と動物用医薬品等の適正使用に関する指導により、安全・安心な畜産物の生産を図る。

### ○病性鑑定業務（検査課）

県内全家保で実施する病性鑑定についての精密検査（病理、細菌、ウイルス、生化学）を一手に引き受け、的確な診断に資する。

### ○関係法令遵守の徹底

家畜保健衛生所法、家畜伝染病予防法、BSE特別措置法、獣医師法、獣医療法、飼料安全法、医薬品・医療機器等法、家畜改良増殖法、家畜排せつ物法等を生産者や獣医師、家畜人工授精師、関係団体等に周知するとともに指導を強化することによって、畜産や家畜衛生、獣医療の健全な発展を図る。

### ○家畜の改良対策

乳用牛群検定事業の推進、全共対策、肉用牛改良センターと連携した優良な候補種雄牛の生産や現場後代検定の推進。

## ■家畜伝染病の発生予防とまん延防止



飼養衛生管理指導強化推進協議会



飼養衛生管理等の指導



鳥インフルエンザ検査



防疫演習（捕鳥作業）

## ■生産性の向上

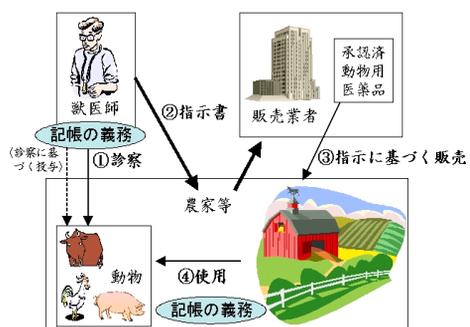


超音波診断装置による妊娠鑑定



病理組織学検査

## ■安全・安心な畜産物の生産



動物用医薬品の適正使用



豚熱抗体検査